

2013年12月16日

## フィリピン台風ヨランダ被災地へ移動式浄水装置を設置 ～緊急給水支援チーム「NIHON GENRYO WATER RESCUE」派遣のお知らせ～

水処理メーカーの日本原料株式会社(本社:神奈川県川崎市 代表取締役社長:齋藤安弘)は、11月にフィリピンを直撃した台風30号『ヨランダ』の被災地支援として緊急給水支援チームを派遣し、移動式砂ろ過浄水装置「モバイルシフォンタンク」を設置いたします。

フィリピンでは被災者数が1,000万人を超える中、現在も国際緊急援助隊を含めた救護・支援活動が続けられています。中でもライフラインとしての『水』の問題は大きく、供給が追い付いていない状況です。安全な『水』の供給は、生命維持、支援・医療体制の確保、また公衆衛生上の観点から二次災害を防止するうえでも極めて重要であり、緊急を要します。

今回の被災地支援は独立行政法人国際協力機構(JICA)が実施する民間提案型普及・実証事業を通じて実施するもので、フィリピン国側受入機関はセブ市を含めた幾つかの自治体を管轄する水道事業体の『メトロセブ水道区』(MCWD)です。セブ島ダーンバンタヤン町(Daanbantayan)に当社製品「モバイルシフォンタンク」(Mobile SIPHON TANK MST-1600)を設置し、被災地域に飲料水を供給する予定です。

同製品は、平成17年度全国発明表彰特別賞、平成19年度文部科学大臣表彰科学技術省などを受賞した、ろ過材の再利用を可能とする「シフォン洗浄技術」を組み込んだ移動式の砂ろ過浄水装置です。これまでも2005年台風14号被害の宮崎市富吉浄水場、2008年岩手・宮城内陸地震被害の奥州市北俣浄水場、2012年九州北部豪雨被害の福岡県八女市など、日本国内を中心に台風や地震などによる被災地で緊急給水支援をおこなってまいりました。今回設置予定の装置(MST-1600)は1時間あたり20m<sup>3</sup>の浄水能力があり、現地河川の表流水を原水として取水予定です。設備は浄水装置に加えて原水槽(10m<sup>3</sup>)、逆洗水槽(10m<sup>3</sup>)、処理水槽(5m<sup>3</sup>)、及び取水、原水、逆洗、給水の各ポンプで構成されています。

現地での活動にあたる緊急給水支援チーム「NIHON GENRYO WATER RESCUE」は、当社代表取締役社長の齋藤安弘をリーダーに、海外担当や技術、施工などのメンバーで編成し、設置から試運転、トレーニングまでをおこないます。12月19日より順次被災地に入り、一週間程度で給水の開始を予定しています。

案件名称 : 独立行政法人国際協力機構(JICA) 平成25年度第1回民間提案型普及・実証事業  
事業分野 : 水の浄化・水処理  
事業名称 : 「移動式砂ろ過浄水装置及びろ過池更生システムの普及・実証事業」  
事業実施国 : フィリピン

※ 事業の詳細は、2013年11月12日リリース「独立行政法人国際協力機構(JICA)平成25年度第1回民間提案型普及・実証事業契約締結のお知らせ」をご覧ください。



モバイルシフォンタンク (Mobile SIPHON TANK)

日本原料は昭和14年の創業以来たゆまぬ努力を続け、ろ過材トップメーカーとして当社のろ過材を日本の浄水場の8割以上でご利用いただいております。また、本リリースでの対象製品を始め、ろ過材を洗浄して再利用を可能とした国際特許【シフォン洗浄技術】を採用した水処理装置のシリーズ製品開発も行っています。今後も安心安全な「水」を世界中に届け、国や地域による水の格差をなくすために尽力いたします。「ろ過」「ろ過材」「水処理」の知見をもとに、日本原料ができること、日本原料だからできることに一層努めてまいります。

**日本原料株式会社**

本社:川崎市川崎区東田町1-2 NKF川崎ビル

TEL 044-222-5555

FAX 044-222-5556

<http://www.genryo.co.jp>

[info@genryo.co.jp](mailto:info@genryo.co.jp)

担当者:企画開発推進本部 田中